

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園緑地事務所等の管理運営		款	5	項	2	目	2	事業	2	整理番号	400
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	管理係		連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	387		
上位施策No・施策名		13 公園づくり		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	47	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		公園緑地事務所(2所)、公園管理事務所(7所)		根拠法令等		(1) 都市公園法、杉並区公園条例、同条例施行規則 (2) 杉並区公園緑地事務所処務規程					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		公園緑地事務所及び公園管理事務所の管理運営を行い、公園維持管理ほか他事業の事業執行を円滑にする。		活動指標名(式)		(1) 対象事務所数 (2) 対象管理面積					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)			
指標	活動指標(1)	①	園	9	9	9	10	10	10	10	100.0	100.0	
	活動指標(2)	②	m ²	6,051	6,051	6,051	6,306	6,306	6,306	6,306	100.0	100.0	
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	37,372	43,039	39,297	60,931	55,008	51,879	21年度予算執行率%		90.3	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	9,353	20,830	20,307	31,534	29,421	28,675				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.40 5.08	1.40 5.08	1.40 6.42	1.40 6.40	1.40 6.42	1.40 6.40	角川庭園開園 1園 桃井中央公園は平成23年開園予定			
	人件費	⑨	千円	12,796	12,670	12,670	12,431	12,431	12,431				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	14,072	14,224	17,976	17,875	17,931	17,875				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	64,240	69,933	69,943	91,237	85,370	82,185				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	7,137,778	7,770,333	7,771,444	9,123,700	8,537,000	8,218,500				
	受益者負担分	⑬	千円	1,320	1,561	1,386	2,588	3,358	2,562				
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	1,320	1,561	1,386	2,588	3,358	2,562					
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	62,920	68,372	68,557	88,649	82,012	79,623					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	2.1	2.2	2.0	2.8	3.9	3.1					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 400

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				角川庭園・幻戯山房の管理運営	1
		事務所保守管理(委託等)	9	園	10,069
		建物等管理委託料(委託等)	9	園	10,434
		光熱水費	9	園	10,564
		その他(一般需用費、通信運搬費、賃借料、謝礼金)			10,121
	(2)事業実績	新規に開園した角川庭園の管理運営を業務委託により行いました。初年度は家具・什器の購入があったため経費がかさむ結果となりました。経費のうち受益者負担分には、角川庭園における「講座受講費」が含まれていますが、政策の趣旨と合致しているかどうか検証が必要です。			

事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化
	区立公園の数・総面積 S47年度 46園 160,449.21㎡ H21年度 303園 533287.52㎡ (S47年は最初の公園管理事務所である児童交通公園の開園年)
	区民から出される意見要望は、公園利用、公園施設利用、公園の管理状態(清掃等含む)に関するものが大半です。7つの公園で毎月利用者アンケートを取っていますが、概ね評価は良好です。 職員の接客等については、平成21年度はいくつかの点で苦情が寄せられる結果となりました。原因を見直すとともに、管理事務所職員を対象に接遇研修を行い、意識の向上を図はかっています。
	今後の予測 公園管理事務所における接客については、引き続きレベルの向上が要求されると思われます。 施設維持だけにとらわれない、管理事務所の役割の向上が求められてきています。

事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由→)	公園緑地事務所及び公園管理事務所は、安全で利用しやすい公園にするための保全活動や、法令等に基づいた適切な利用を進めるための第一線の職場です。
(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	公園管理という旧態の意識から、より多くの人に利用される公園づくりという職員の意識改革が重要です。本庁・公園緑地事務所・公園管理事務所の情報伝達をスイッチパソコン導入により活性化させ、生産性を向上させることが可能です。
(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	受益者負担は茶室使用料が主なものです。改定は困難ですが、利用者の少ない柏の宮の茶室をPRし、利用増を図ります。
(4) コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化](具体的内容→)	管理事務所の運営を民間事業者へ委託、または指定管理者に行わせることにより、新規開設に伴う人員増等のコストを抑えるとともに、施設の特徴を生かした事務所運営等が期待できます。

協働等 点検	(2)協働等の相手	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方
(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	企業・個人事業者((3)へ)	(3) 委託[業務量の50%以上に相当]	実施継続

評価と課題	大規模公園や災害時の地域拠点となる公園にはその機能を維持するための管理事務所が必要です。近年、建築物等の保全管理に関する基準は厳しくなる傾向にあり、保守点検等のコストは増大傾向にあります。引き続きコスト削減に努めます。管理事務所の役割について利用者の要求が高まる傾向にある中で、管理事務所の職員側の認識や接遇レベルが伴っていないので、その能力向上を進めます。また、スイッチパソコンを活用し、区の課題等のリアルタイムな情報共有を図ります。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
(1) 前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成21年度民間事業化提案で採択された「大田黒公園利用活用プロジェクト」を、指定管理者移行を視野に入れ、事業実施に向けた検討・準備を行いました。また、平成23年度開園となる「桃井中央公園」の管理事務所の運営形態を含め、管理事務所の仕事のあり方について課内検討を行う検討会を立ち上げました。	
(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	23年度に「桃井中央公園」が開園することに伴い、管理事務所の運営形態をどのようにするかが課題です。他の公園管理事務所を含め、管理事務所の仕事のあり方について、指定管理者・業者委託等も視野に入れ検討します。	
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1) 23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	「桃井中央公園」の新規開園に伴う事業費増。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園の維持管理			款	5	項	4	目	1	事業	1	整理番号	433
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583			昨年度整理番号	421
上位施策No・施策名		13 公園づくり			予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区民が安全で快適に利用できる公園にします。			活動指標名(式)		(1) 区立公園管理面積 (2) 区民要望件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
指標	活動指標(1)	①	m ²	533,288	556,183	533,540	561,857	557,784	601,849	92.7	99.3			
	活動指標(2)	②	件	1,482	0	1,243	0	1,289	0					
	成果指標(1)	③	%	67	73	72	75	72	75	96.0	96.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	574,946	618,648	608,362	595,253	583,558	559,490	21年度予算執行率%		98.0		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	974	1,577	1,566	64,539	60,780	41,591	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	505,618	538,091	535,107	511,896	502,345	483,328					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	38.56 44.59	36.00 43.81	33.67 43.29	30.00 45.92	30.70 40.82	28.50 45.92					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	352,438	325,800	304,714	266,370	272,585	253,052				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	123,514	122,668	121,212	128,255	114,010	128,255				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,050,898	1,067,116	1,034,288	989,878	970,153	940,797					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,969	1,916	1,936	1,647	1,630	1,494					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	11,077	10,846	11,107	10,846	10,975	11,223				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	11,077	10,846	11,107	10,846	10,975	11,223					
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	1,039,821	1,056,270	1,023,181	979,032	959,178	929,574					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 433

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	園地清掃委託	533,540	m ²	161,617
		樹木、花壇等管理委託	533,540	m ²	120,995
		遊具等公園施設補修工事	303	園	60,780
		流れ、排水設備、防災設備等保守点検委託	303	園	56,454
		その他 (その他の園地維持管理費)			183,712
(2)事業実績	民間事業化提案制度による公園便所・公衆便所維持管理の委託を、区の2/6の地域でモデル事業として実施しました。南ブロックの清掃の水準が低く、事業者に他する指導を行いました但改善されないため、提案事業は21年度で終了することとなりました。 老朽化した遊具を優先的に改修し、公園の安全性を向上させました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立公園は昭和49年に100園、昭和60年に200園を超え、平成21年度末に310園に増えました。そのうち約1/3は1970年代に開園しており、これらの公園では老朽化が進み、球戯場や木製遊具が劣化してきています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	公園利用者からはゴミの不法投棄、路上生活者による不正利用、犬の連れ込みなどの苦情が、近隣住民の方からは、樹木の剪定及び落ち葉の清掃についての苦情があります。また、公園の防犯性、快適性に関する要望が寄せられます。 一方でみどりの保存やオープンスペースの確保のため公園の新設を希望する声もあります。			
	今後の予測	公園の老朽化が進む一方で、公園の安全・安心、快適性への関心がいっそう高まると思われれます。効率的な公園の維持管理を行うには、区民との協働による維持管理も必要となってきます。 22年度末に区で2番目に広い(仮称)桃井中央公園が開園する予定です。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 公園は都市環境の改善、防災、景観、健康・レクリエーションなどの機能を持ち、これを適正に維持管理することにより、機能を最大限発揮します。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)		より効率的な予算執行方法等の検討を行います。 公園の維持管理は区が主体的に行うものではあるが、区と区民等の役割分担を明確に行い、地域住民による自主的な維持管理活動の支援を行います。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		受益の対象は不特定多数の区民であり、区の責任で維持管理するものとする。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		安全・快適な公園のための維持管理であり、必要なコストとする。		
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]		(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	遊具の安全に対する関心が高まっていること、全国で老朽化した遊具による事故が増加していることから、木製遊具などの改修を重点的に行いました。一方で遊具以外の施設の老朽化も進行しており、塗装や補修という長寿命化対策が遅れてしまいました。平成20年度から一部の公園・公衆便所の維持管理を民間事業化モデル事業導入しましたが、事業者の問題で終了することとなりました。特別清掃や巡回点検など一定の成果があり、今後のブロック清掃の委託内容に反映できるよう検討します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	民間事業化提案制度による公園便所・公衆便所維持管理の委託を、区の2/6の地域でモデル事業として実施しました。南ブロックの清掃の水準が低く、事業者に他する指導を行いました但改善されないため、提案事業は21年度で終了することとなりました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	民間事業化で得られた教訓については、今後のブロック清掃の委託内容に反映できるよう研究していきます。また、将来的な公園管理のあり方の検討に反映させます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	平成22年度末に(仮称)桃井中央公園40,000m ² が開園するため、公園管理面積増による事業費の増加が見込まれます。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園事業		款	5	項	4	目	1	事業	2	整理番号	434
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	公園利用係		連絡先電話番号		3587		昨年度整理番号	422	
上位施策No・施策名		13 公園づくり		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		公園利用者 公園ボランティア団体		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○安全安心に利用できる公園が増え、苦情要望が減少します。 ○地域住民ボランティアによる公園管理が増えます。		活動指標名(式)		(1) 公園ボランティア団体数 (2) 夜間警備車両台数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○公園利用調整:公園内の占用利用の調整や受付許可を行う。また、占有者へ一般利用者や近隣への安全対策などの調整打合せを行う。 ○公園利用指導:不適切な公園利用に対し、職員や夜間巡回警備による適正利用指導を行う。 ○公園ボランティア活動支援:公園内の管理活動に携わる団体に対して必要な資材などを提供し活動の支援を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)		(代) 占用申請利用件数							
				算定式・指標の説明等									
				成果指標名(2)		(代) 要望件数÷公園数							
				算定式・指標の説明等		児童遊園、遊び場含む							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)			
指標	活動指標(1)	①	団体	138	145	145	165	157	175	89.7	95.2		
	活動指標(2)	②	台	1,099	1,097	1,097	1,097	1,097	1,187	92.4	100.0		
	成果指標(1)	③	件	958	700	618	700	673	700	96.1	96.1		
	成果指標(2)	④	件	5.2	5.0	4.9	5.0	4.9	5.0	98.0	98.0		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	58,622	62,713	59,734	64,553	58,185	65,533	21年度予算執行率% 90.1			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	48,702	48,452	48,478	51,032	47,224	51,218	平成22年3月31日公園数 区立公園= 253 区立児童公園= 51 緑地= 5 遊び場= 15 計 324			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	4.17 0.00	4.00 0.00	4.57 0.00	3.20 1.00	3.31 1.00	3.20 1.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	38,114	36,200	41,359	28,413	29,389	28,413			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	2,793	2,793	2,793			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	96,736	98,913	101,093	95,759	90,367	96,739				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	700,986	682,159	697,193	580,358	575,586	552,794				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	44	946	1,373	946	1,358	1,128			
		国からの補助金等	⑭	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0			
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	2,044	2,946	3,373	2,946	3,358	1,128				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	94,692	95,967	97,720	92,813	87,009	95,611				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	1.0	1.4	1.0	1.5	1.2					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 434

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	夜間警備経費	1097	台	44,945
	花咲かせ隊事業(委託等)	120	団体	8,530
	公園育て組経費(委託等)	37	団体	1,713
	その他(大田黒公園ライトアップ経費ほか)			2,997
(2)事業実績	平成21年度末の「すぎなみ公園育て組」は37団体であり、平成20年度末36団体から4増3減の1団体増えました。「花咲かせ隊」は109団体から11増の120団体になりました。365日、区立公園の夜間巡回警備を行い、園内の迷惑利用に対して注意指導を行っています。大田黒公園ライトアップを実施しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度から始まった「花咲かせ隊」、16年度開始の「すぎなみ公園育て組」とも認知度が上がり増えています。今年度の「すぎなみ公園育て組」の増加は、地域のグループや自治会の参加がありました。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	公園の夜間巡回警備の実施により、夜間の迷惑行為に対し、具体的な対応策がとれるようになりました。このため夜間の苦情要望について、区民から一定の評価をいただいています。花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組の活動についても、公園の手入れや、美しい花壇に感謝の言葉をいただいています。早朝や夜間における活動時間への問合せがあります。		
	今後の予測	「花咲かせ隊」は増加を予定しています。活動団体の中には、人員の減などから交代が行われます。一方で、「花咲かせ隊」の活動者が、清掃や緑化活動など幅広く活動が出来る「すぎなみ公園育て組」に加わっていくと考えられます。早朝と夕方における公園迷惑利用対策の増加が考えられます。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	ボランティアの参加が、公園を地域の財産であると再認識するきっかけ作りとなり、きれいな公園が新たな公園利用者を増やしていきます。また、夜間警備が迷惑利用の防止に加え、施設点検も担っているため、すばやい対応ができ、公園の良好な維持管理の実現につながっています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→) ②成果向上のための方策	今以上に成果を上げるためには、ボランティア参加団体数を増やすことが必要です。ボランティア活動への資材提供等、活動支援経費が増加します。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	本事業の公園ボランティアの支援は、区民と区の協働であり、受益者は地域住民、公園利用者であるため、受益者負担を求めません。夜間警備も受益者負担に適用しません。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	「公園育て組」をはじめとするボランティア活動の支援は、団体数が増えて初期投資が必要となり、コストが増加します。すべての公園に「育て組」が参加して初めてコスト削減へ向かうことができます。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	夜間巡回警備は、公園の迷惑利用に対する注意指導だけではなく、夜間の突発的な事件の情報収集にも活躍しており、安全なまちをささえていくうえでは、欠くことができなくなっています。「花咲かせ隊」「すぎなみ公園育て組」は、区立公園などにおいて、住民自身での花壇作り、清掃や植栽の手入れなどを通じ、植物と土にふれあい、公園の維持に関わる活動が環境改善に貢献し、地域コミュニティの活性化に寄与しています。今後も、ボランティア団体が主体的に活動し、その地域と一体となった、活動への支援や調整を行います。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成21年度から、委託業者が花咲かせ隊代表と花材の配布日時等を調整行っています。夜間巡回警備は、週一回時間を変更して今まで注意できなかった時間帯の要望対応を行っています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	花咲かせ隊については、新たな花材要望があり経費が増加しています。花材の見直しを行います。夜間巡回警備については、定期的に委託警備員や責任者と打合せを行い、迷惑利用内容と正確な注意指導方法の確認を行います。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	夜間巡回警備委託について、22年度から三ヵ年の複数年契約を行いました。警備業務の熟練度が保たれることと、経費の増加が抑えられます。								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	「すぎなみ公園育て組」は、スマートすぎなみ平成22年度計画、45団体を計画しています。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		遊び場の維持管理			款	5	項	4	目	1	事業	3	整理番号	435	
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	内3583			昨年度整理番号	423	
上位施策No・施策名		13 公園づくり			予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	46	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 (2) 先行取得用地の活用と管理について								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区民が安全で快適に利用できる遊び場にします。			活動指標名(式)		(1) 遊び場管理面積 (2) 区民要望件数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○公園の先行取得用地や、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備 ○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績								
指標	活動指標(1)	①	m ²	106,147	107,975	105,905	105,151	105,151	105,151	100.0	100.0				
	活動指標(2)	②	件	97	0	63	0	51	0						
	成果指標(1)	③	%	67	73	72	75	72	75	96.0	96.0				
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	67,457	52,493	46,664	37,591	34,339	39,358	21年度予算執行率%		91.3			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	16,953	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	63,353	49,344	44,143	34,608	32,267	36,827						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	6.42 0.00	4.80 0.40	4.80 0.00	3.70 0.00	3.75 0.00	3.90 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	58,679	43,440	43,440	32,852	33,296	34,628					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	1,120	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	126,136	97,053	90,104	70,443	67,635	73,986						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,029	899	851	670	643	704						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	126,136	97,053	90,104	70,443	67,635	73,986						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 435

21年度の事業実施状況	内容	規模	整理番号 435	
			単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	桃井原っぱ広場(遊び場101番)の清掃、除草、管理委託等(執)	40,000	m ²	6,988
	遊び場102番の清掃、除草、管理委託等(執)	52,686	m ²	15,262
	他の遊び場の樹木管理、除草等(執)	12,465	m ²	3,984
	他の遊び場の清掃等(執)	12,465	m ²	3,296
	その他 (他の遊び場の維持補修ほか)			4,809
(2)事業実績	区民が安全で快適に遊び場を維持管理をしました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	遊び場は、公共施設建設などのために先行取得した用地を一時、公園の補完施設として活用するために昭和40年代から始まりました。その後、民有借地等も遊び場とする場合も出てきましたが、開設が長期化しています。また、現存の遊び場は、本格整備が行われないまま老朽化が進んでいます。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	近くに子供が安心して遊べる場所があるのは好ましいと評価される一方、狭く小さな遊び場に対して近隣住民から騒音などの苦情が多くあります。また、身近な公園の設置状況が不足している地区や都市計画公園に指定されているものについては、遊び場からの都市公園とすることを求める声もあります。		
	今後の予測	平成22年度末に桃井原っぱ広場(遊び場101番)が防災機能をもった都市公園として開園します。区や都の公園整備事業におともない、遊び場の設置、廃止が予想されます。		
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 区民ひとりあたりの公園面積が少ない杉並区においては、先行取得用地等を遊び場として一般開放し、有効活用することは大変有意義なことです。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	維持管理は区が主体的に行うものの、地域住民による自主的な維持管理活動には支援を行います。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	受益の対象が不特定多数の区民であり、遊び場の維持管理は区の責務です。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	遊び場施設の維持管理であり、必要なコストと考えます。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	区民一人当たり公園面積がまだ少ない状況において、先行取得用地を遊び場としては開放することは土地の有効利用として大変有意義なことです。 遊び場も長期化してしまい遊具や施設が老朽化しているものもあり、適切な補修、改修をしていきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)								
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 長期間遊び場として設置しているものについて、必要性、有益性を検討します。								
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 都など他の事業者用地はその事業の進捗状況により遊び場としての利用が長期化してしまっています。								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input checked="" type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由 桃井原っぱ広場(遊び場101番)が都市公園として開園するので、管理面積減により予算見積もりは減少します。								

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 436

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				(仮称)桃井中央公園整備負担金	40000
		事務費			30
		その他 ()			0
	(2)事業実績	(仮称)桃井中央公園の整備は、平成21年度に用地8,000m ² の取得を行いました。 また、平成21年度は公園の整備工事のうち造園工事を中心とした第一期工事を実施し、このうちの一部を暫定開放しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区7地域のうち、5つの地域に7箇所の地域公園が整備されました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	(仮称)桃井中央公園の整備は、平成18年に基本設計を作成しましたが、より防災機能を重視した、シンプルな公園を望む声が地元からありました。 一部を暫定開放したことから、より広い範囲の開放と早期開園を望む声が寄せられています。			
	今後の予測	都市化の進行により今後広大な地域公園の用地の確保が難しくなっています。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)		公園として整備することにより、地域のみどりを創出し、防災力の向上に寄与しています。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		耐久性等、コスト効果に優れる整備資材を選定することにより、整備の成果向上は期待できます。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		受益の対象が不特定多数の区民であり、防災性の向上のための地域公園の整備は区の責務であるため受益者負担には適しません。		
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		公園整備にあたっては地域の方々の要望を取り入れ、防災機能を高めるため原っぱを最大限活かしたシンプルな公園としました。平成21年度には造園工事を中心とした第一期工事を実施し一部を暫定開放しました。今後、建築工事を中心とした第二期工事を実施します。公園に対する地域の期待は大きく、公園完成後は新たなみどりの創出と地域防災機能の向上に貢献します。平成13年度からはじまった旧日産工場跡地の防災公園街区整備事業はこの公園の整備で平成23年春に完了する予定です。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 工事内容を精査しコスト縮減と効率化を図りました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 工事内容、工事方法の工夫によりコスト縮減を図ります。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 (仮称)杉並区桃井中央公園の整備事業に関する全体協定書による管理者負担金の支払いが終了するため、予算見積りはありません。一方、平成28年度から平成42年度の間、同協定によるUR立替分の支払いが必要となります。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		身近な公園の整備		款	5	項	4	目	1	事業	5	整理番号	437			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	公園整備係		連絡先電話番号	内3583		昨年度整理番号	425					
上位施策No・施策名		13 公園づくり		予算事業区分				投資事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	1	政策番号	2	施策番号	2	事業コード	9	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		区立公園 公園利用者		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条								
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○身近な公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができます。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できます。		活動指標名(式)		(1) 当該年度に新設した身近な公園数 (2) 当該年度に整備した身近な公園面積										
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○身近な公園(1ha未満)の新設・拡張 ○区民一人当たり5㎡の都・区立公園面積を目標に身近な公園を整備。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民一人あたりの都区立公園面積 算定式・指標の説明等 公園・緑地等面積/人口 成果指標名(2) (代)身近な公園の面積 算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)						
指標	活動指標(1)	①	園	3	5	2	8	7	4	175.0	87.5					
	活動指標(2)	②	㎡	8,614	23,118	253	26,398	24,244	4,065	596.5	91.8					
	成果指標(1)	③	㎡/人	1.84	1.89	1.85	1.89	1.89	1.97	95.9	100.0					
	成果指標(2)	④	㎡	335,198.9	358,316.9	335,451.5	361,849.47	359,695.65	363,760.3	98.9	99.4					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	939,940	1,997,859	1,678,202	2,225,092	2,170,262	7,973	21年度予算執行率%		97.5				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	939,940	1,997,859	1,678,202	2,225,092	2,170,262	7,973	特記事項						
	(内)委託費	⑦	千円	0	23,963	20,388	119,092	64,262	7,972	22年度への繰越明許費 44,961千円						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.10 0.00	1.10 0.00	1.19 0.00	1.60 0.00	1.69 0.00	1.30 0.00	身近な公園整備の事業は用地取得費が大半を占めることから、用地取得の有無により年度ごとの事業費が大きく増減します。						
	人件費	⑨	千円	10,054	9,955	10,770	14,206	15,006	11,543	平成21年度、国庫補助金は第1回、第2回内示変更により633,000千円から608,000千円に変更しています。						
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0	また、国庫補助金26,000千円を繰越しています。						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	949,994	2,007,814	1,688,972	2,239,298	2,185,268	19,516							
	単位あたりコスト (⑪-⑥)÷①	⑫	円	3,351,333	1,991,000	5,385,000	1,775,750	2,143,714	2,885,750							
	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0							
	国からの補助金等	⑭	千円	309,000	664,000	527,000	633,000	581,000	15,000							
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0								
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0								
特定財源計 (⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	309,000	664,000	527,000	633,000	581,000	15,000								
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	640,994	1,343,814	1,161,972	1,606,298	1,604,268	4,516								
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 437

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		(2)事業実績	(仮称)西荻北けやき公園の整備工事 855.28 m ² 24,675 (仮称)高円寺北一丁目公園の用地取得 2406.08 m ² 1,619,000 (仮称)和田一丁目公園の用地取得 1444.53 m ² 487,000 和田公園拡張工事 586.62 m ² 14,060 その他 (提供公園の協議及び整備) 25,527		
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	地価の高騰により、用地取得に多大な経費がかかるようになっていきます。みどりを残すために公園として整備して欲しいという機運が高まっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	空き地や駐車場、貴重なみどりが残る民有地等を公園として整備してほしいという要望があります。取得した公園用地を早く公園にして欲しいという要望があります。			
	今後の予測	みどりの保全、オープンスペースの確保のため公園の整備を求める声は大きくなると思われれます。			
事業のあり 方点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 区民1人あたりの公園面積を少しでも増やすことができます。より身近なオープンスペースが確保できます。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	用地買収などが伴う場合があります。また、新規に公園を整備するので事業費がかかります。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	受益の対象が不特定多数の区民であることから見直し余地がありません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	新たな施設を設置するため、コストを下げる余地がありません。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	平成21年度に取得した公園予定地は周囲にみどりが少ない地域にありながら貴重なみどりが残っていることから、地域の方々と協働でみどりを活かした公園づくりを進めていきます。また、区民がみどりの中で憩い、ふれあうとともにまちの景観や防災性の向上を目指した公園づくりを目指します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	公園事業費補助制度を積極的に活用して、用地取得費、施設整備費の低減に努めました。他の補助制度の導入についても検討します。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	地域公園の整備と合わせ公園の適正配置を進めることで、公園整備による成果向上とコスト縮減に努めます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	公園用地の取得には大きな費用がかかることから、他の補助事業や財政的支援制度の活用を求めています。	
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	当事業の経費の大半は用地取得費で平成23年度以降は予定されている公園用地取得はないので大幅な増加はありませんが、公園整備の工事費が見込まれることから23年度は増加となります。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園の改修			款	5	項	4	目	1	事業	6	整理番号	438			
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	内3583			昨年度整理番号	426			
上位施策No・施策名		13	公園づくり			予算事業区分			投資事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業 分野			1	政策番号	2	施策番号	2	事業コード	9	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等			(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条							
	区立公園 公園利用者	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			活動指標名(式)			(1) 平成13年度からの改修公園数の累計 (2) 整備した特色あるコースの累計									
	事業の概要	○公園の改修により、区民がより安全で快適に公園を利用できるようにします。 ○公園の特色づけにより、区民が公園で楽しく過ごせるようにします。			活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			成果指標			※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
		○老朽化した区立公園の主要施設を大幅に改修する。 ○公園の特色づけのため、花木やテーマに沿った樹木を植栽する。			成果指標名(1)			公園改修率			算定式・指標の説明等 改修公園累計数/公園改修予定数(29園)						
					成果指標名(2)			特色あるコース整備率			算定式・指標の説明等 コース整備数/コース整備予定数(10)						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)							
指標	活動指標(1)	①	園	15	18	18	21	21	22	95.5	100.0						
	活動指標(2)	②	コース	11	12	12	12	12	14	88.9	100.0						
	成果指標(1)	③	%	51.7	62.1	62.1	72.4	72.0	76.0	94.7	99.4						
	成果指標(2)	④	%	70.0	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	88.9	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	34,825	40,321	36,279	46,527	42,473	28,824	21年度予算執行率%		91.3					
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	34,825	40,321	36,279	46,527	42,473	28,824	特記事項							
	(内) 委託費	⑦	千円	34,731	38,536	36,173	45,890	41,837	28,744								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.48 0.00	1.20 0.00	1.88 0.00	1.80 0.00	1.84 0.00	1.70 0.00								
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	22,667	10,860	17,014	15,982	16,337	15,094							
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	57,492	51,181	53,293	62,509	58,810	43,918								
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,511,133	603,333	945,222	761,048	777,952	686,091								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0							
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0								
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	57,492	51,181	53,293	62,509	58,810	43,918								
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 438

21年度 の事業 実施 状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	今川一丁目公園球戯場改修工事	1	式	21,525	
	井草北公園施設改修工事	1	式	16,748	
	高円寺南公園部分改修工事	1	式	3,549	
	その他 (事務費ほか)				651
(2)事業実績	平成21年度も引き続き公園改修計画を一部見直し、騒音やボールの飛び出しの苦情が多く、施設の老朽化が著しい今川一丁目公園と井草北公園の球戯場の改修工事を行いました。 また、高円寺南公園のバリアフリー化と老朽化施設の改修工事を実施しました。				
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	現在300を越える区立公園のうち、約1/3が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。 公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象がこどもからお年よりまで幅広くなっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。 既存の球戯場については、騒音やボールの飛び出しへの苦情が寄せられます。一方で新設の要望もあります。 花木の植栽などで特色づけした公園が好評で、花の時期には多くの問い合わせがあります。			
	今後の予測	少子高齢化に伴い公園に対する施設の要望などが多様化します。 できてから40年以上経過する公園が増加し、既存施設の老朽化がいつそ問題となります。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	安全性の向上や公園の魅力付けができ、公園のリフレッシュが果たせます。			
	②成果向上のための方策	現在区立公園は300箇所以上ありますが、改修のペースが一年に2園程度なので公園の老朽化に追いつきません。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	受益の対象が不特定多数の区民であるため、受益者負担には適しません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	公園全体を見直し、新たな魅力付けを進める上で、施設の長寿命化は限界にきているので、これ以上のコスト削減は困難です。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	部分的な修繕や規模を縮小することにより、安全で魅力ある公園として区民の方々に利用されています。 今後、設置してから40年以上経過する公園が200園以上に増えることから、施設の長寿命化、安全対策や全面・部分改修を図る一方で、高齢化など時代のニーズにあった公園へのリニューアルを行い公園資産の価値を高めていく必要がある。 一方、特色ある公園づくりでは花の名所づくりなどはとても好評で、公園に新たな付加価値が生まれました。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	公園の部分改修工事と球戯場改修を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 既設の公園資産を最大限活かすため、利用者のニーズにあった公園へのリフレッシュを進めます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財政的制約がある中、優先順位を精査しながら効率的、計画的な改修を実施していきます。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	老朽化した公園が増えていきます。利用者の安全・安心や公園ニーズへの対応のため事業費の増額が必要です。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公衆便所の維持管理			款	5	項	4	目	3	事業	1	整理番号	443	
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	管理係			連絡先電話番号	3572			昨年度整理番号	431	
上位施策No・施策名		13 公園づくり			予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	28	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			区立公衆便所17所		根拠法令等 (1) 杉並区公衆便所条例 (2) 地方自治法第2条第3項、第281条第2項								
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。			活動指標名(式) (1) 公衆便所数 (2) 定期清掃回数(年間延べ回数)										
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)公衆便所のバリアフリー率 算定式・指標の説明等 バリアフリー化された便所数÷公衆便所数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	所	17	17	17	17	17	17	17	100.0	100.0			
	活動指標(2)	②	回	4,567	4,990	8,030	9,125	8,721	5,115	170.5	95.6				
	成果指標(1)	③	%	53	53	53	53	53	53	100.0	100.0				
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	14,879	17,479	17,074	17,058	16,990	17,423	21年度予算執行率%		99.6			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	10,097	12,597	12,297	12,608	12,549	13,273						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.02 0.00	1.70 0.20	1.73 0.00	1.70 0.00	1.73 0.00	1.70 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	18,463	15,385	15,657	15,094	15,361	15,094					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	560	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	33,342	33,424	32,731	32,152	32,351	32,517						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,961,294	1,966,118	1,925,353	1,891,294	1,903,000	1,912,765						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	33,342	33,424	32,731	32,152	32,351	32,517						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 443

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				モデル事業公衆便所の清掃	7
		地域別ブロック方式清掃委託	10	所	4,125
		公衆便所の光熱水費	17	所	3,332
		公衆便所の維持補修	17	所	677
		その他 (管理運営費、樹木管理)			1,312
	(2)事業実績	平成20年度に引き続き17箇所中7箇所(前年度5箇所)において民間事業化提案による委託を行った。荻窪駅南口公衆便所において、小便器の故障が1ヶ月以上にわたり放置され使用不能状態となるなど、事業者内部の連絡体制の不備があった。他に公園便所清掃においても問題があったため、民間事業化提案事業は21年度で終了することとした。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	公衆便所箇所 昭和49年～現在 17箇所 公園便所箇所 昭和56年 126箇所 昭和60年 142箇所 平成元年 164箇所 平成5年 183箇所 平成12年 201箇所 平成19年 204箇所			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	「トイレが常に清潔で使いやすい状態であること」といった日常管理に関する要望が多い。また、高齢者、障害者など、身体機能に支障がある人を含め誰もが使いやすく安全な施設であることを望む声もあります。			
	今後の予測	震災時等帰宅困難者が発生した場合に、トイレットペーパーや水道の確保などの課題に対応できる体制の確立が求められる。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 快適なまちを保持するため、また、まちの環境美化のため、公衆便所の存在は不可欠です。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	民間事業化提案事業は、事業者の問題で終了したが、内容そのものは効果があった。今後の委託内容に反映できるよう研究していく。バリアフリー化については、改修にあわせて計画を検討します。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	誰もがいつでも気軽に利用できる公衆トイレの存在意義からして、トイレの有料化は現時点で適しません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	現在の経費は、維持管理に必要な最低限の範囲となっています。			
	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進				
評価と課題	施設の老朽化・経年劣化の中で、清潔で利用しやすい公衆便所を維持することは年々困難になっています。従来どおりの清掃委託だけでは便所機能の向上が期待できない中、平成20年度から公園便所とあわせ民間事業化モデル事業を一部実施してきましたが、事業者の問題で終了することとなりました。特別清掃や巡回点検など一定の成果が、今後の委託内容に反映できるよう研究していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減		
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	民間事業化提案事業により清掃回数を増やす。実施箇所を21年度は3箇所増の7箇所の公衆便所とする。という内容で実施してきたが、事業者の実施内容に不備があるなど問題があったので民間事業化事業については平成21年度で終了することとした。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	民間事業化で得られた教訓については、今後のブロック清掃の委託内容に反映できるよう研究していく。また、将来的な公園管理のあり方の検討に反映させていく。 バリアフリー化については、改修とあわせて計画を検討します。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし		
	(2)理由			